

日本自動車会議所元会長  
トヨタ自動車名誉会長

豊田章一郎名誉顧問がご逝去

## 日本自動車会館開設に尽力

自動車産業の連携や発信力の強化に多大な貢献



故豊田章一郎氏

**日** 本自動車会議所元会長で、トヨタ自動車で社長、会長を務められた豊田章一郎（とよだ・しょういちろう）氏が2月14日、逝去されました。97歳でした。豊田氏は、トヨタ自動車工業とトヨタ自動車販売の「工販合併」により1982年7月に誕生したトヨタ自動車の初代社長で、1992年9月まで務められました。同社会長に就任された翌1993年6月、当会議所第11代会長に就任。自動車関係総合団体のトップとして、日本自動車会館を開設するなど自動車産業・業界の連携や発展に尽力されました。2012年6月に当会議所名誉会長に就かれ、その後名誉顧問を務められていました。

豊田氏は、「日本の基幹産業である自動車産業が社会的な役割を果たしていくためには、関連業界が連携し協調することが大切である」として、点在していた自動車関係団体の拠点となる「会館」の構想をかねてから提唱され、ついに2004年3月、生産から販売、研究開発、ユーザー関係まで幅広い団体が1つのビルに集合する「日本自動車会館」が誕生しました。

また、2002年4月には、「自動車税制改革フォーラム」が、ユーザー団体のJAF（日本自動車連盟）を筆頭に、自動車関係14団体（現在は21団体）で結成されました。事務局は当会議所が担当し、幅広い自動車関係団体が不合理な自動車税制の是正を求めて一致団結し、自動車会館を拠点に会合や意見交換



日本自動車会館開設除幕式  
に出席した豊田氏（右端）  
（2004年3月）

などを積極的に行っています。その成果として、2005年から2006年に行われた「道路特定財源の一般財源化反対」の署名活動では、1,000万人を超える署名が集まりました。

自動車産業の連携強化を推進し、自動車産業の情報受発信や発言力を強化するなど、日本の自動車産業に多大な貢献をされた故人を悼み、日本自動車会館

では亡くなられた翌日の2月15日、半旗を掲げました。謹んで豊田名誉顧問のご冥福をお祈り申し上げます。



ご逝去翌日の2月15日、日本自動車会館では半旗を掲げて哀悼の意が表された。手前の銘板の「日本自動車会館」の文字は豊田氏による揮毫



自動車議連との政策懇談会で意見を述べる豊田氏（左側テーブル中央）。自民党の重鎮議員も真剣に聞き入った〔2011年7月〕



会長退任後の総会懇親会で自動車議連会長の中川秀直衆議院議員（当時）と歓談する豊田氏（右）〔2012年6月〕